

● Photo sketch ●



9/2 16 第64回 市民総合体育大会夏季大会

市民総合体育大会夏季大会のカヌー競技が2日・土岐川で、水泳競技が16日・コマスイミングスクール土岐で開催され、各町の代表選手約110人が熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

- <カヌー> ①肥田町 ②泉町 ③妻木町 ④土岐津町 ⑤駄知町
 <水泳> ①泉町 ②駄知町 ③曾木町 ④土岐津町 ⑤妻木町 ⑥肥田町



9/5 祝! 109歳 長生きの秘訣は食べ物

県内では3番目、市内では最高齢となる109歳を迎えた林おかきさんを祝うため、市長が林さんの入所する施設を訪問しました。現在、市内には100歳以上の方が42人います。

林さんは明治42年生まれ。9人の子どもを育て、22人の孫、39人のひ孫、3人の玄孫がいるとのこと。好きな食べ物を聞くと、「好き嫌いはなく何でも食べる。野菜や果物がおいしい」と家族に囲まれながら笑顔で話してくれました。



9/8 秋はすぐそこに

下石公民館で琴や尺八の音色を楽しむ「お月見コンサート」が開催され、約200人の観客がひと足早い秋を満喫しました。コンサートでは寿会の皆さんが「みずうみの詩」など4曲や、多治見西高校箏曲部の皆さんが、高校生の前向きな気持ちを表現した「夢の中」を披露。

織部太鼓の皆さんによる太鼓ショーや、地元の子もたちでつくる火童子太鼓隊やおはやし隊も加わって「火童子音頭」が披露されるなど、会場は優しい音色とにぎやかな雰囲気包まれていました。



9/10 ママ、すごい迫力だよ

久尻保育園児109人が、子育て中の母親らで構成する吹奏楽団「ママプラスぽぽ」による生演奏を楽しみました。演奏された曲目は、「ドラえもん」などのアニメソングや「森のくまさん」などの童謡、全7曲。トランペットやフルートなど10種類の楽器を奏でながらその音色も紹介されました。

園児らは、音楽に合わせて体を動かしたり歌ったりしながら、息のぴったり合った迫力の演奏に引き込まれていました。

9/1 おじいさん、おばあさん、元気で長生きしてね

敬老会が文化プラザで開かれ、市内で満90歳を迎える285人のうち65人が会食や余興を楽しみました。

代表者は、90年の人生を振り返る中で戦争を経験したことにも触れ、「今日の平和は戦争の犠牲者のおかげと肝に命じ、明るく過ごしたい」と力強くあいさつ。参加者は、赤飯を食べたり酒を酌み交わしたりして、思い出話を花を咲かせました。舞踊ゆきこま会によるダンス、土岐少年少女合唱団による合唱などの余興では、手拍子を打ったり歌を口ずさんだりするなど、会場はたくさんの笑顔であふれていました。



9/9 いざというときのために

土岐津公民館で、防災への意識を高めようと「土岐津町防災フェスタ」が行われ地域住民など約400人が参加しました。

同町の防災士や市消防職員などが指導に当たり、「自分の命は自分で守る」ことを再認識するため、ロープの結び方や非常時でのトイレの使い方、身の回りの物で行う応急救護など体験型のコーナーが充実。非常食の試食や防災備蓄品の展示なども行われました。

参加者は不慣れな動作に悪戦苦闘しながらも「災害はいつ起こるか分からない。いざというときは今日の体験を少しでも役立てたい」と話してくれました。

